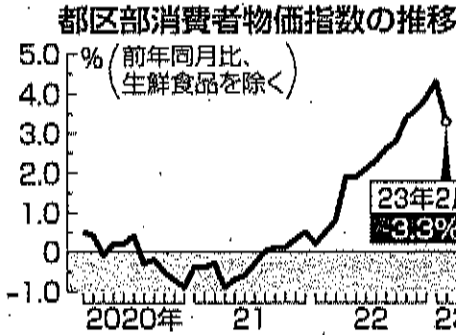


2月都区部物価 3.3%上昇

食料7.8%増高止まり続く

総務省が3日発表した2月の東京都都区部消費者物価指数(中旬速報値、2020年1100)は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が103.7と前年同月比3.3%上昇しました。



0年1100)は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が103.7と前年同月比3.3%上昇しました。上昇は18カ月連続ですが、伸び率は政府の電気・ガス代負担軽減策の効果により前月(4.3%)に比べ低下し、13カ月ぶりに鈍化しました。

エネルギー価格全体は5.3%上昇しました。電気代が1.7%低下。都市ガス代は20.4%伸びました

が、上昇幅は前月(39.7%)に比べ縮小しました。ガソリンも2.2%低下しました。

政府は、1月使用分から電気代と都市ガス代を補助する負担軽減策を実施。総務省の試算では、軽減策による物価押し下げ効果は、電気代で0.67%、都市ガス代で0.31%でした。生鮮食品を除く食料は7.8%上昇と高止まりが続いています。外食のハンバ

ーガーのほか、食用油や調理パンなどの高騰が目立ちます。総務省担当者は「電力会社の値上げ申請や食料価格高騰の今後の状況を注視したい」としています。

生活実感に近い生鮮食品を含む総合指数は3.4%、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数は3.2%のそれぞれ上昇でした。

東京都都区部の指数は24日に公表される2月の全国消費者物価指数の先行指標となります。